

2022年6月～2022年7月

戸取 大樹



- 6/5 東京タワー階段競争(東京タワー) **総合7位 年代別優勝**
- 6/ LANDMARKS チーム始動
- 6/24-25 パーティカルランニング合宿(山梨県身延)
- 6/ 早大スケート部スラックライン講習
- 7 AirFly カジュアルライン発売
- 7/10 CHASE YOUR BACK(神奈川県生田配水池) **3位**
- 7/30~31 Federations Cup 岐阜大会(岐阜県恵那市クリスタルパーク) **総合優勝**

今後の大会予定

- 9/3 蔵王スカイラン
- 9/11 VJC 東京大会(東京スカイツリー)(全日本選手権)
- 9/18 東京都クラス別スピード選手権大会
- 9/24 BMW BERLIN MARATHON INLINE SKATING(ドイツ・ベルリン)
- 10/16 Federations Cup 兵庫大会(兵庫県伊丹市)
- 11/6 VJC 大阪大会(大阪あべのハルカス)

6/5 東京タワー階段競争

東京タワーの展望階段531段105mを一気に駆け上がるレースです。270名あまりがエントリー、回を重ねるごとにレベルが上がっていきます。

今回は優勝候補と目された渡辺良治選手、東京タワーの第一人者小山孝明選手が不参加(小山選手は当日のMCを担当)で混戦が予想されましたが、蓋を開けてみれば階段坊主こと矢島昭輝選手が史上二人目の2分切りの大会新記録で優勝。

僕自身は前回よりタイムを5秒縮め、**総合で7位、年代別(40歳代)で優勝**。個人的に目標にしていた2分20秒には0.6秒及ばずでしたが、初めて戦略的に挑めた大会で手応えを感じました。

また、スケート関係にも階段の輪が広がってきていて、**5月にレクチャーをした早稲田大学アイススケート部の2選手も参戦し、女子の部で2位と5位**という好成績を残しました。またインラインスケートの後輩の梅村選手も年代別6位、総合16位と健闘しました。



6月 LANDMARKS 活動開始

バーティカルランニングのクラブチームとして、小山選手が中心となって活動する「LANDMARKS」が本格始動しました。今年初めて開催される**全日本選手権**に向けて本腰を入れて取り組むべく、チーム員として参加しています。都近辺で毎週開催される練習会でトレーニングをしています。コーチ陣はギネス記録保持者や各大会の優勝者が揃っていて、厳しいながらも効果的なトレーニングが積めています。



6/24-25 バーティカルランニング身延山合宿

過酷な修行で有名な山梨県身延山久遠寺、菩提梯で開催された合宿に参加しました。初日目は**287段で104m**の高低差を登る菩提梯のワークアウト。凜とした空気の中、最後は倒れこむほどのトレーニングとなりました。

2日目は久遠寺を出発して身延山(1153m)の山道を駆け上がるスカイランニングトレーニング。初めて山で走りましたが、サポートでトレイルシューズ topo や naked のトレイルベストのレンタルがあったり、コーチ陣の細かなケアが受けられたり、ハードながらも安全で楽しい合宿となりました。



7/10 CHASE YOUR BACK

Landmarks 主催のバーティカルランニングイベント「Chase Your Back」に参加。生田配水池(218段 40m)を会場に、**真夏の2時間の間、登り、下りながらバーティカルのトップ選手に追いつかれないように逃げる**というイベントで、遠く広島からの参加もあるほど盛り上がりました。

トップは30往復を超えるなか、27往復(5886段 1080m)で**3位入賞**。途中靴擦れや痙攣もあり、ハードなレースでした。ローラーホッケーの選手も誘って3人が参戦。いずれも好成績を収めました。

6/27 早大スケート部スラックライン指導

僕自身がトレーニングに取り入れているスラックライン(宙に吊った5cmほどの幅のベルトの上で技をするスポーツ)ですが、早大スケート部とスラックラインフリーク社との繋がりをお手伝いしました。同部は、選手が社会や他競技に積極的に関わって競技活動以外の部分も育成していくことを方針としているそうです。

先日の東京タワーセッションの折りに、トレーニングとしてのスラックラインに興味を持っていただき、機材の使い方指導に伺いました。



7月 AirFly カジュアルライン発売

何年も愛用している鼻当てのないサングラス「AirFly」のカジュアルライン(AF501)が発売になりました。これまではスポーティなラインナップが中心でしたが、普段使いもしやすいモデルです。昨年アイデアを出させていただき、製品化していただいたもので感慨も一入、お気に入りの製品が増えました。



7/30-31 Federations Cup 恵那大会 総合優勝

今年諸事情により国内連盟が開催できなかった全日本ロード選手権に相当する同大会で総合優勝しました。春の江戸川大会(トラック種目)と同じく日本の全トップ選手が集まり、高いレベルの中で、2012年以来10年ぶりの優勝は本当に嬉しい勝利でした。

100m 5位

1Lap 1位

10000m Point race 2位

15000m Elimination race 2位

総合 優勝

階段やスパルタトレーニング、バイクなど複数種目に取り組んでいますが、相乗効果で良い成長につながっていると感じています。



